

月刊 ゆがの通信

2024年1月号

発行：ゆがの薬局

「治ったはずなのに・・・」 「コロナ感染症の後遺症?」に「八仙丸」

はっせんがん

「コロナ感染症の後遺症?」

新型コロナウイルス感染症の最大の感染拡大期であった第七波の終息から一年以上経過し、生活リズムなども以前に戻った感があります。それでも、胸が痛む、咳や痰が続く、息切れがある、嗅覚障害や味覚障害、疲労感があるなどの不調を訴えたり、頭にモヤがかかったようにぼんやりして物事が思い出せないなどという「ブレインフォグ」と呼ばれる症状などについてのご相談が増えています。これらはコロナウイルス感染症の後遺症が考えられます。



これらの後遺症の原因について学術雑誌「Nature (ネイチャー)」に掲載された四つの理由が話題になっています。

①体内にまだ病原体が残っている
感染した病原体や病原体由来の物質がまだ体内に残っているのに身体の免疫力低下が続いているために駆除することができていない。

②免疫力の狂い

病原体の一部と身体の構造の一部が似ていることによって免疫が誤って自分を攻撃してしまう自己免疫疾患である状態。

③腸内細菌叢（腸内フローラ）の乱れ

体力低下、免疫低下、腸内細菌叢の乱れに伴い、体内のウイルスが再活性化。ヘルペスや帯状疱疹の症状が出たりする。

④組織や臓器がなかなか治らない

組織や臓器が傷ついて治らない永久的な組織・臓器障害が起きている。急激な炎症や慢性化炎症で機能障害に陥っている。

というものです。

冬の乾燥でさらにダメージ

前にあげた後遺症の中でも一番ご相談の多い症状が「痰がきれにくく」「空（から）咳が止まらない」なのですが、冬の乾燥が症状に追い打ちをかけてしまうので注意が必要です。乾燥した空気は肺や気道、皮膚からも水分を奪います。すると鼻や喉の粘膜バリア、皮膚のバリアが低下し、細菌やウイルスの体内への侵入を防ぐことが難しくなってしまう。侵入されたとしても免疫が正常に機能していれば細菌・ウイルスを撃退し感染

を防ぐことが可能ですが、コロナ後遺症によって免疫の働きに支障がある場合防げなくなります。免疫をきちんと調整する力がより大切になるのです。痰が切れにくく長びく空（から）咳には「八仙丸（はっせんがん）」がおすすめです。八仙丸は、腎の潤いを補うシオウ・サンシユ・サンヤク、余分な熱をとるボタンピ・タクシャ・ブクリヨウ、肺を潤し炎症を抑えるバクモンドウ、咳を鎮めて吸気呼吸困難を改善するゴミシの八種類の生薬エキスを配合しています。また、内分泌系の働きを調整し、先ほどの症状に加えて息切れ、口の渇き、喉がイガイガするなどにも効果があります。

・イスクラ産業株式会社

「八仙丸」（第二类医薬品）

五四〇粒入り（一か月分）

五、三四〇円＋税

一日三回一回六粒（一五歳以上）を目安に水かお湯などでお召し上がりください



「八仙丸」についてのご相談ご質問は店頭だけでなくお電話でも受け付けています。お気軽にご相談ください。

「実は多くの方が悩んでる尿漏れ」

漢方の子カウで根本から改善!

星火安固丹（セイカアンコタン）でお悩みを解消! 健康な毎日を送りましょう



(C) イスクラ産業株式会社

1ヶ月分 7000円(税別)

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>